平成24年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体のうえに、すぐれた

学校番号 2

I 自己評価

1	学校教育目標	このことを実現す (1) 生徒の興味別 (2) 生徒に軸足る	Q傭ス創造性に富む美践的な産業人 □るために本年度は以下の重点目標 関心を喚起して確かな力を身に付け ☑と置いた豊かな人間性を育てる教育 ↓が帰属意識をもち生涯を見通した	を設定させ、の推済	だした る教育 生	こ。 育の扌	
2 評価する領域・分野 ◇環境管理							
					-).T.):1	心曲口	ージャ
対	現状、生徒及び保護者等を *象とするアンケートの結 -分析等	一トで「施設・設備が学習環境にとってほぼ満足できた。 徒が81%あったのに対し、「校内の清掃が行き届いである」と答えた生徒は61%であり、場所によっていていない箇所もあると感じられる。 活動の大切さを教えると同時にその機会を提供していきは171%であるが、昨年は地域清掃が雨天により2まり、活動が充分ではなかった。 では93%の生徒が肯定的な回答をしており、実習やずの指導がかなり行き渡っていると感じ取れる。					
4	A 左左	◇明るく清潔な学	校生活(学習環境)を樹立するた	めに、	生徒	三一人	ひと
4	今年度の具体的かつ明確な	りが美化意識を持	fち、清掃活動に誠実に取り組むよ	う指導	算する	らとま	に、
	重点目標	ボランティア精神	の啓蒙と自ら安全管理ができるよ	うなお	旨導る	行う)
5	5 重点目標を達成するための ・議題提案 分掌会議(環境管理部) → 企画委						
	校内における組織体制	/ *** - * - / / / / / / / / / / / / / /	環境委員会 (1年生各クラス 2名、2・3年生各クラス				
6	目標の達成に必要な具体的な		7 達成度の判断・判定基準ある			Д.1	111
6 目標の達成に必要な具体的な取組 7 達成度の判断・判定基準ある(1)清掃活動を大切な教育の一分野と位置づけ監 (1) 今までよりも、より美しく、						+	., . 7
督の職員に力を入れていただくようお願いする。また、朝掃除や地域清掃活動などを通して、ボランティア精神の向上を図る。 (2)防災訓練を通して、自衛消防組織の危機管理機能を確認し、さらに命の大切さを自覚させる。また、消防署と連携して訓練・研修の充実に努める。				のアン か。 を守る その』	ったっこうな	- ト絽 : がて : 意識	果等できるが植
8	取組状況・実践内容等		9 評価視点	10	評	価	
・日頃の清掃活動は先生方のご協力により、充実し			①清掃活動の大切さが身につい	Α	(B)	C	D
ていると思われるが、清掃不十分な場所に気づ			たか		_		
			②公共物を大切にする心、ボラン	Α	\odot	С	D
・地域清掃活動は天候にも恵まれ、実施できた。 ディア活動に取り組む心が育							_
・防災訓練は従来通り、2回実施できた。 成できたか。							
・教職員には8月28日に救急救命講習会を実施し、			,,, = 9	Α	(B)	С	D
災害時の迅速な対応法について学んで貰った。			の作用時、Vグルではたが、C C たが。	Λ	D	C	D
11	○本年度アンケートでは、同上の質問すなわち、「施設・設備が学習環境にとっ				^	→	<i></i>
成	てほぼ満足できる」及び「校内の清掃が行き届いており、きれいである」と答				合	評	価
果							
•	地域清掃活動も300名以上の生徒の参加により、盛大であった。				(B)	С	D
	課 ○防災訓練もすみやかな避難ができるようになり、救急救命講習会にも例年にな						
題 く多くの職員の参加により、有意義にできた。							
▲花壇の整備については環境委員に定期的に仕事を割り振り、生徒の手で花壇を							
整備し、環境教育の充実と、生き物を大切にする心の育成を図りたい。							
I	to to day to be a day to the total						

- 12 来年度に向けての改善方策案
- ・清掃活動を教育の一環としてとらえ、、一生懸命清掃に取り組み、すがすがしい気持ちをより多くの 生徒が味わうことができるよう、職員に対してお願いしたい。
- ・花壇整備は年間を通じて計画的に行いたい。

Ⅱ 学校関係者評価

実施年月日:平成25年1月31日

【意見・要望・評価等】

・救急救命法を生徒も覚えると良い。これからの社会でいつ何があるか分からないので、卒業までに習得すると良い。